

「全鍍連」 2021年 9月号 若者から一言

東京都鍍金工業組合

青年部 会長 豊田 浩司 (㈱トヨタ電鍍 取締役)

「若手から一言」



今年の四月五日から東京都鍍金工業組合青年部の会長を仰せつかっております豊田浩司と申します。まだまだ拙く至らぬところばかりですが宜しくお願い致します。

最近の景況感であります、昨年の緊急事態宣言が発令されて1ヶ月くらいは例年通りでしたが次第に仕事が入ってこなくなり売上は半減致しました。この記事を書くにあたり他社の話もお伺いしたところ、売上はかなり減っているとの事でした。海外と取引のあるところだと港から荷が出ないと発注が出なかったり、人の移動に制限がかかるということはここまで経済活動に影響が出るのかと身をもって感じました。仕事量が少ない分空いている時間で設備のメンテナンスを行ったり、時間の有効な使い方に思慮しました。今年に入ってから鉄や銅の資材不足から仕事が止まっているときもありましたが四月くらいから少しずつ出始めてきましたがまだまだ回復したとは言えない厳しい状況が続いております。

コロナウィルスはくしゃみや話す時に出る唾等で感染する病であり人との距離を取ることを推奨している通り、他の業界ではリモートワークを多く取り入れている事からか米中では木材の需要が拡大している事も鉄や銅の資材不足に少なからず影響していると思えてなりません。

東京都鍍金工業組合青年部は発足して間もないですが、以前は東京の各支部の青年部の集まりとして連合青年部会がありまして、その頃から先輩方から教えを頂きました。東京都鍍金工業組合青年部としては例年通りなら幹事から意見を頂き講習会を行い、2年に1度工場見学を行っております。過去に工場見学に伺ったところは栃木県太田市のSUBARUの自動車工場に工場見学に伺った時は車のシャーシに直接処理を行っている事実にもものすごくビックリ致しました。その他にも先輩方のお力をお借りして他県の工場も見学させて頂きました。工場見学は何処か自分にあった会社への固定概念を別の角度からのアプローチの手助けになる大事な機会でありました。

新型コロナウイルスの感染拡大により人の集まる事への制限をかけなくてはならなくなり、東京都鍍金工業組合青年部として集まり方を、インターネットを使用したzoom等のアプローチを行っております。これに留まらず別の方法がないのか模索をしていきたいです。

かつて東京都鍍金工業組合は1200社以上の組合員がいましたが今となっては300社を切るほどの組合員となって本部役員を担う方達も負担が大きくなっている現状があります。今は周りの方達の力添えもあり東京都鍍金工業組合青年部の活動を行っていますが東京都鍍金工業組合青年部の会員も会員が少なくなっていく流れがある中で、何も分からない自分に親身に教えてくださった先輩方から渡されたバトンを次の世代へと渡せるよう拙いながらも会の結束、会員間の相互の情報交換の一助になればと思っております。

鍍金業界は基本的に企業が新たに参入しづらい業界であると思っております。環境面での大変な面もありますが、だからこそ業界一丸となってこれからの困難な局面に迎えられるよう力を合わせられるよう頑張りたいです。

以前から技能教育委員会に携わらせて頂いておりますがこの委員会に携われていることも次の世代へと思いや技術を

伝えられる立場にいると思いますのでこの様な機会を頂けていることに感謝をして今後も精進していきたいと思っております。